

さあ行こう!! 祈りの聖地を巡る世界遺産の旅へ

# CAI AIDMIDIE HAWAII MI AIP NAGASAIKI veir.

## 教えて!! さえちゃん

### キリスト教の歴史

キリスト教が築かれたのは、約2000年前。今に伝えているのが、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産なんです。

2世紀にわたる長い歴史。潜伏キリシタンは、16世紀にわたる長い歴史。潜伏キリシタンは、16世紀にわたる長い歴史。潜伏キリシタンは、16世紀にわたる長い歴史。

- ① 日本にキリスト教が伝わる。
- ② 日本統一を目指していた豊臣秀吉が宣教師を追放し、全国に禁教令を出す。
- ③ 潜伏キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。
- ④ 潜伏キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。
- ⑤ 潜伏キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。
- ⑥ 潜伏キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。
- ⑦ 潜伏キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。
- ⑧ 潜伏キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。
- ⑨ 潜伏キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。
- ⑩ 潜伏キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。キリシタンは、16世紀に伝わる。

### 世界遺産登録の流れ

- ① 県市町村が提案書を作り、国(文化庁)に提出する。
- ② 国は国内の候補地を一覧表を作りユネスコに提出する。
- ③ 世界遺産審議会(一審)に審査される。
- ④ 推薦書の作成など、必要な準備を行う。
- ⑤ 国はユネスコに推薦書と提出する。
- ⑥ 専門機関による審査が行われる。
- ⑦ ユネスコでの審査を経て...
- ⑧ 登録

## 豆ヶ島天主堂

石造りの教会  
信徒たちが10年かけて完成させました。

石造りの理由  
● 周辺に石材に適した砂岩が多い事と石材を使用する事で、建築費を抑えることができたからです。

教会の石壁には「四九五」と「三九五」の文字が刻まれています。これは四尺九寸五分ほどの長さを表記しているんです!!

マツバギクはとれど見頃です♡

## 旧五輪教会堂

旧五輪教会堂は、明治14年の建築物であり、五島に現存する教会堂としては最古の教会堂です。和風建築の外観も魅力です♡

和風建築の外観

旧五輪教会堂は、国の重要文化財に指定されています。  
教会の中には、リヴ・ヴォールト天井やゴシック様式の祭壇があります。

## 旧野首教会

島の生息する野生の日本ジカに会えるかも!?

教会建築の父 鉄川与且が手がけたレンガ造りの教会です。現在はほぼ無人となった島の丘の上に静かに佇んでいます。

美しい野崎海岸

## 江上天主堂

江上天主堂を取り囲む大きなタブの樹木。立派な幹の中にはハート模様が隠れている真幹があります。探してみてください♡

奈留島は、日本で2か所だけという貴重なハート型の水晶(双子夫婦水晶)がとれる島なんです!!

◆特長◆  
● 中の柱の木目)手書き  
● 窓ガラスの花  
● 7ルームのかわいらしい教会  
● 湿気が多い場所であるため、風通しを良くするため床下が高くなくとられている

※このMAPは全てCAが手作りで作成しています。内容は諸説あります。

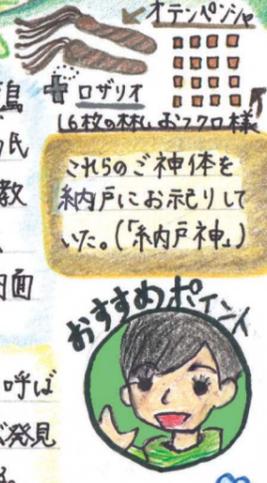
# 1 春日集落と安満岳

古来から自然崇拜の対象であり、禁教期の信仰対象であった安満岳。山頂付近には、神社・寺跡・石造物が数多く残っています。

**春日集落**  
平戸島の西海岸に位置する。平戸島の領主松浦氏の有力家臣籠手田氏の改宗によりキリスト教が広がる。禁教期は仏教や神道を受け入れつつ、「系内戸神」などを崇敬しながら内面ではキリシタン信仰を系統していた。

**丸尾山** 住民から「丸尾山」と呼ばれる小高い丘。丸尾山。キリシタンの墓が数見られ、かつて十字架がここに建てられていた。現在は祠がある。

**安満岳** 山頂の神社の脇を抜けると見える大絶景



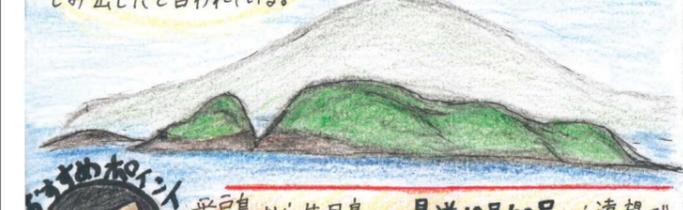
# 2 十中江ノ島

平戸島北西岸の沖合2kmに位置する。長さ400m、幅50mの小島。無人島。(※島への上陸はできません。)

幕府の禁教令後、秘かに布教を行っていた神父を助けた生月・平戸の信徒達がこの島に送られて処刑された。

潜伏キリシタンはこの場所で、オラショ(祈り)を唱え「お水取り」を行い、聖水として使用した。どんなに日照りが続いても、信徒がオラショを唱えると水がしみ出したと言われている。

平戸島から生月島への県道19号42号から遠望できます。また、平戸市生月町博物館「島の館」では、禁教の歴史について詳しく学ぶことができます。



# 3 外海の大野集落

禁教期に潜伏キリシタンが自分たち自身で組織的に信仰を続ける中で、代子となった神社に自分たちの信仰対象を祀り、オラショ(祈り)を唱えていた。在来宗教と信仰の場を共有していた集落。

大野教会堂  
出津教会堂の巡回教会として、1893年フランス人宣教師マルク・マリード・ドロ神父が設計。私財を投じ、信徒とともに石造りの教会を建てた。

ドロ神父ゆかりの「ドロさまそうめん」はコシがあってつるつる! 麺つゆとセットで、お土産におススメです!

# 4 外海の出津集落

禁教期に小規模な信仰組織で連携し、オラショや教会暦などを密かに伝承して信仰を続けた集落です。1879年にドロ神父が外海に赴任すると、**出津教会堂**が建てられました。

旧出津救助院は、ドロ神父が女性の自立支援のための作業場として建て、素麺など食品加工を行っていました。

ドロ神父が母国フランスから取り寄せたオルガンは100年以上の時を経た今も、あたたかい音色を響かせています。



# 5 黒島 黒島天主堂

九十九島最大の島。黒島天主堂(ロマネスク様式のカトリック教会)

1988年、国の重要文化財に指定されました。

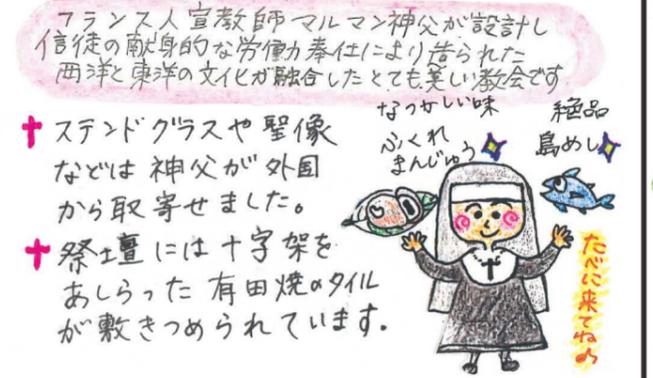
天井や扉の木目は全て信徒の手書きです。

シノガの一部は信徒が焼いたものです。

フランス人宣教師マルマン神父が設計し、信徒の献身的な労力と奉仕により建てられた。西洋と東洋の文化が融合したとても美しい教会です。

ステンドグラスや聖像などは神父が外国から取寄せました。

祭壇には十字架をあしらった有田焼のタイルが敷き詰められています。



# 6 大浦天主堂

長崎市市中心部、南山手に建つ大浦天主堂。ここは1865年、潜伏キリシタンが自らの信仰を告白した「信徒現見」の舞台です。

晴れた日には、色鮮やかなステンドグラスを通して、柔らかな光が差し込み、とても綺麗です。

周辺には原城跡の歴史と伝説が溢れる。ガイダンス施設「有馬キリシタン遺産記念館」があります。原城跡の見学前に記念館へ足を運ぶ事をオススメします! そのほか、有明海が一望できる原城温泉もあります。



# 7 原城跡

天草四郎を総大将として、数千人のキリシタンや農民が立て籠った「島原の乱」の舞台となった場所。現在の発掘調査では、いびつな形の鉛の十字架が多数出土。単一の最中、鉄砲玉から作られている。

